



星座はいくつあるの

昔は200以上の星座があった

星座は今から約5000年前に、メソポタミア地方に住んでいた羊飼いが考えたといわれています。それが、ギリシャに伝わってから神話と結びついて、現在の星座の話ができました。

その後、今から約500年前、マゼランやコロンブスが活やくした時代に、南半球の星に新しく星座の名前がつけられました。この時代には世界の国々で、それぞれの星座をつくったので、200以上も星座ができてしまいました。

今は88の星座

それぞれの国々で星座をつくっていたので、国によっては、同じ星でもちがう星座に入れてしまうなどの混乱がありました。それで、統一をはかるために、1930年に世界中の天文学者が集まって、88の星座とその境界を決めました。

誕生日に関する星座

星座には、わたしたちになじみの深い、誕生日に関する星座、北極星のあるこぐま座、北斗七星のあるおおぐま座などいろいろあります。誕生日に関する星座は、次のような七五調の文章にすると覚えやすくなります。

お羊(座)、お生その次に、並ぶはふたご、かにの宿、くるえるししとおとめ子に、かたむくてんびん、はうさそり、弓持ついてにやぎさけび、水がめの水に魚ぞすむ。

(監修・国司 真)

